



豊橋市明海町の自社工場（自動車用樹脂外装部品の成形・塗装）

- 本社所在地：愛知県豊橋市
- 事業概要：自動車用樹脂外装部品（バンパー等）の成形・塗装・組立
- 常時使用する従業員：196名（2026年9月時点）
- 現在の売上高：98億円（2026年9月期）
- 法人番号：6180301005435
- Web：https://kawanishi-paint.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
川西 正克

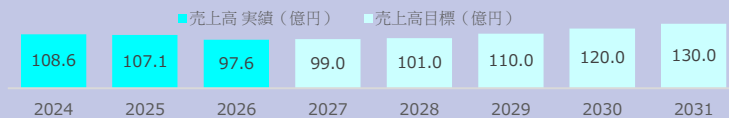
超現実がイノベーションを生む

「不可能を可能にする精神」で何事にも挑戦する川西塗装は、1951年の創業以来「塗れないものを塗る」挑戦を重ね、金属塗装から樹脂塗装へ転換して自動車メーカーに直接納入する樹脂外装部品の一貫生産体制を築いてきました。次の10年は、完全自動化塗装ラインで塗装能力の上限を外し、売上高100億円を通過点として130億円へ成長します。増えた付加価値は年5%の賃上げで社員に還元し、東三河のものづくりと地域の雇用を支え続けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2028年に売上高100億円を達成し、2031年に売上高130億円の達成を目指す（2026年9月期 約98億円から年率約6%の成長）。自動化塗装ラインの新設で塗装能力の制約を外し、増産要請・新規品番を取り込んで成長する。



課題

- ・塗装能力の上限が受注の上限になっている（主力Sラインは2008年新設・人手で製品を掛け外し）
- ・人手依存：現場人員の多くを派遣社員に頼っており、東三河の人手不足で増員による増産が難しい
- ・塗装レス化・水性化・VOC規制など塗装工程の構造変化への対応
- ・直近3期の売上は微減（109→107→98億円）。能力増強なしでは成長軌道に戻れない

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①東工場に完全自動化バンパー塗装ラインを新設（投資約15億円・2028年稼働）。パレット搬送+移載ロボットで掛け外しを無人化し、塗装能力を拡大
- ②増えた能力で主要顧客の増産要請・新規品番を取り込む
- ③高意匠・2トーン・水性塗料・AI外観検査で「塗装レス化」に高付加価値側で対抗
- ④補給部品・非自動車分野への展開で収益源を多様化
- ⑤自動化で捻出した人員を再配置し、1人当たり給与を年5%引き上げて人材を確保

実施体制

- ・社長直轄の「新ライン建設プロジェクト」（生産技術課・塗装課・経理室・AIシステム室）
- ・設備：塗装ラインの設計・施工会社、塗装機器メーカーと連携して新ラインを構築
- ・資金：自己資金（必要時は蒲郡信用金庫からの機動的な調達が可能）。外部専門家（経営コンサルタント）による計画策定支援
- ・人材：既存人員の多能工化と教育による生産性向上、採用強化で新ラインの運営体制を整備
- ・今後：AIシステム室を核に検査・搬送データを統合し、全ラインの自動化を段階的に拡大